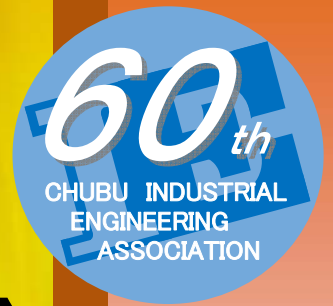


◆ 年間登録メンバー募集のご案内 ◆



2019 年度

# モノづくり競争力研究部会

## 新たなモノづくりへのチャレンジ！

～競争力を高めるモノづくり力とイノベーション～

2019  
5/23

2020  
3/3

- 1 生産物流研究部会
- 2 生産システム研究部会
- 3 モノづくり人材育成研究部会
- 4 **モノづくり競争力研究部会**
- 5 生産現場改善研究部会
- 6 葦クラブ研究部会

### 登録メンバー特典

2020年 1月 14日 (火)

現場長のための問題解決力セミナー

# 2019年度モノづくり競争力研究部会

グローバル競争が激しさを増す中、日本の製造業が競争に打ち勝ち持続的に成長していくためには、自社の強みを見極め、これまで培ってきた現場力・技術力をさらにレベルアップさせると共に、イノベーションによる新たな価値創造へのモノづくりに挑戦し続けていかなければなりません。当部会では、自社のモノづくりの強みに磨きをかけ、競争力の持続向上をはかるモノづくりの現場を訪問し、その強みの本質を探究します。  
是非とも、ご参加・ご登録をお願い申し上げます。

年間テーマ

## 「新たなモノづくりへのチャレンジ！」 ～競争力を高めるモノづくり力とイノベーション～

第1例会

と き 2019年 5月 23日 (木) 13:00～17:30

と ころ 山本化学工業(株) 本社工場・大阪工場 (大阪府大阪市)

【ココが見どころ！】  
石灰石からゴムを製造

### 「ジャパンプレミアムのモノづくり」

～ウェットスーツ素材から体調改善機器まで～

山本化学工業(株)

代表取締役社長

山本 富造 氏

トップアスリートが愛用するウェットスーツ素材・高速水着素材、国際規格 ISO13485 に基づいて製造される医療機器、災害復興を支える放射線遮蔽素材などの複合特殊ゴム素材メーカー。同社が今春認定を取得した体調改善機器は人々のQOL向上と健康寿命の延伸が期待される。本例会では新たな素材を開発する技術力と新たな分野への挑戦についてご紹介いただく。

(主な生産品目 : ウェットスーツ素材・競泳用水着素材・医療機器・体調改善機器)

第2例会

と き 2019年 7月 17日 (水) 13:30～17:00

と ころ (株)小松製作所 粟津工場 (石川県小松市)

【ココが見どころ！】  
ICT建機のデモ実演とダントツの環境性能と生産性を合わせ持つ建機組立工場

### 「コマツのオープンイノベーション戦略」

～自前主義からの脱却と連携～

(株)小松製作所

CTO室 Program Director

富樫 良一 氏

コマツは、ハイブリッド油圧ショベルや ICT 建機、機械稼働管理システム (KOMTRAX) の開発など、建設機械業界の先端を築いてきた。しかし自前主義の限界と不安、そして将来性への危機感から、近年ではオープンイノベーションに積極的に取り組み、スタートアップ企業や、大学・研究機関と様々な連携に取り組んでいる。本例会では、この日本発の新しいモノづくりの現状、将来の方向性についてご紹介いただく。

(主な生産品目 : 建設機械・産業機械)

第3例会

と き 2019年 11月26日 (火) 13:30～17:00

と ころ (株)ユーシン精機 本社工場 (京都府京都市)

【ココが見どころ！】  
IoT活用による生産性向上へのチャレンジ

### 「スピードと精度を追求した取出口ロボットの開発」

～「できない」「無理だ」は出発点～

(株)ユーシン精機

専務取締役 製造本部責任者

北川 康史 氏

1973年設立の工業用ロボットメーカーであるユーシン精機は、京都の小さな町工場からスタートし、「できない、無理だ、は出発点」という創業者の信念のもと、技術力・開発力を武器に後発ながらプラスチック射出成形品取出口ロボット分野で世界トップシェアを誇るまでに成長している。本例会では、決して諦めないモノづくり精神と、それを具現化する技術力・開発力についてご紹介いただく。

(主な生産品目 : プラスチック射出成形品取出口ロボット)

■ 当部会の企画・運営におけるご協力をお願いしております。 (順不同)

**運営幹事**

愛三工業(株) グローバル生産管理部生産調査室室長 戸谷 淳氏  
 イビデン(株) システム推進統括部AI/IoT推進部 近下 睦氏  
 大同特殊鋼(株) モノづくり改革部エンジニアリング推進室室長 渡邊 裕之氏  
 豊田合成(株) 生産管理部生産調査室社内1グループチームリーダー 山本 雄氏  
 トヨタ紡織(株) F P T 生 技 部 主 査 高垣孝成氏



▲ 写真はグループディスカッション風景  
 ※ グループディスカッションでは、参加者が小グループに分かれて相互意見交流会を行います。

**基本スケジュール** 13:30~17:00

- ① 会社概要説明・テーマのプレゼンテーション
- ② 工場(現場)見学
- ③ グループディスカッション
- ④ 発表・質疑応答

第4例会

と き 2020年 1月 21日 (火) 13:30~17:00  
 と ころ (株)イシダ 滋賀事業所 (滋賀県栗東市)

**【ココ見どころ!】**  
 生産パターン別の  
 仕組みづくり・モノづくり

## 「生産の流れ(フロー)を最優先にしたモノづくりの追求」

～はかりしれない技術を、世界へ～

(株)イシダ 生産統括部門生産部 次長 萩原 洋史 氏

イシダは1893年の創業以来、民間初のハカリメーカーとして、先進の計量技術で産業界へ貢献してきた。近年では「はかる」というコア技術を武器に計量のみならず包装・検査・表示・搬送等、食のインフラを提供する機械メーカーとして飛躍的成長を遂げ日本のみならず世界で展開している。本例会では、市場変化に柔軟に対応する生産の取り組みについてご紹介いただく。

(主な生産品目 : 組み合わせ計量器、計量包装値付機、異物検出機器、重量検品機器等)

第5例会

と き 2020年 3月 3日 (火) 13:30~17:00  
 と ころ ダイキン工業(株) テクノロジー・イノベーション・センター (大阪府摂津市)

**【ココ見どころ!】**  
 モノづくり領域での  
 IoT活用による生産革新

## 「ダイキン流 協創イノベーションの実現」

～『技術革新』と『価値創造』～

ダイキン工業(株) 生産システム革新Gグループリーダー 主席技師 高山 正範 氏

ダイキン工業は、2015年に競争イノベーションが生まれる技術開発のコア拠点としてテクノロジー・イノベーション・センター(TIC)を設立。これまでダイキン工業の国内3拠点に分散していた研究・開発技術者700名を集約、部門の壁を越えた真の協創活動のプラットフォームとして、社内外の『知』を結集する技術開発拠点としている。本例会では、イノベーションを生むTICの取り組みについてご紹介いただく。

(主な生産品目 : 空調機器)

実証実験  
 視察例会

と き 2019年 秋以降を予定 <変更となる場合があります。開催約2ヶ月前に案内予定>  
 と ころ 未定 <自動運転実証実験の開催地が決定後調整予定>

**【ココ見どころ!】**  
 自動運転実証実験

## 「世界に乗り出す自動運転ベンチャーTierIV」

～自動運転の世界標準を目指すソフトウェア開発と見据える未来～

名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ領域 特任教授  
 (株)ティアフォー 取締役 二宮 芳樹 氏

名古屋大学発の自動運転スタートアップ企業であるティアフォーは、オープンソースの自動運転ソフトウェア「Autoware(オートウェア)」を武器に活躍の場を世界に広げている注目企業である。2017年には、遠隔型自動運転システムの公道実験を国内で初めて実施し、自動運転レベル4の実現に向けて世の中を牽引している。本例会では、現在行われている自動運転の実証実験を視察すると共に、自動運転にもたらすモビリティ社会と、その先端をいくティアフォーの作り出すAutowareの世界、その戦略についてうかがう。

(主な生産品目 : 自動運転ソフトウェア)

# 開 催 要 領

## 参加対象

IE、生産技術、生産管理、製造・技術・開発部門スタッフ 等

## 運営方法

- ①集合場所・時間等の詳細案内を開催の約1カ月前に登録メンバーへEメールにてご案内しますので、都度、ご出欠をご返信ください。なお、同じ組織であれば、登録者以外(代理)の参加も可能です。
- ②各例会とも指定の集合場所・時間に各自でご集合下さい。**現地集合・現地解散**
- ③視察先の都合により、同業者の方々のご参加をお断りする場合があります。  
その際は、他の例会への振替参加(+1名)をご案内いたします。  
**止むを得ない理由により、開催日時の変更が発生する場合があります**のでご了承願います。
- ④各例会とも、録音・写真撮影はご遠慮願います。
- ⑤年間の運営ガイダンスは第1例会の際に行います。

## 年間登録費

中部IE協会会員	74,520円	〔1名につき、 資料代・消費税(8%)を含む〕
一般	112,320円	

- ① 年間登録費については、申込受付の後、請求書を送付させていただきますので、**5月22日(水)**迄に下記の指定銀行へお振り込み願います。  
なお、**銀行へ支払う振込手数料につきましては、お客様のご負担**となりますので、ご了承願います。
- ②年間登録費は下記口座へ直接お振込みいただいても結構ですが、その際は申込書に振込日をご記入いただき、請求書不要の欄にチェック☑を付けてください。

口座名義:中部インダストリアル・エンジニアリング協会 振込銀行 口座番号(順不同)

三菱UFJ銀行鶴舞支店 普通 No.1602917	名古屋銀行上前津支店 当座 No.3116141
愛知銀行本店営業部 当座 No. 2678	りそな銀行名古屋支店 当座 No. 494070
中京銀行本店営業部 当座 No. 112438	

- ③**5月16日(木)以降の参加取り消し**につきましては、年間登録費の返金を致しかねます。  
(ご登録者の変更をお願いいたします)  
(途中からの参加も可能です)

## 申込締切日

**2019年 5月 16日(木)**

登録申込書に必要事項をご記入の上、FAX 又は 郵送にてご送付願います。  
(途中からの参加も可能です)

## メンバー特典

当研究部会の登録特典として、1名に限り、下記の講座へ**会員価格の半額**でご参加いただけます。  
詳細は個別案内状をご送付申し上げますので、是非ご参加下さい。

**2020年 1月 14日(火) 現場長のための問題解決力セミナー (28,600円→14,300円 消費税(10%)含む)**

### ※ 個人情報の取り扱いについて

1. 参加申込によりご提供いただいた個人情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。  
なお、当本部個人情報保護方針の内容については、当本部ホームページ(<http://www.cpc.or.jp>)をご参照願います。  
参加されるご本人、ご連絡担当者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申し込まますようお願いいたします。
2. お申し込みをいただいた方へは各種セミナーのご案内をお送りする場合がございます。
3. 個人情報の開示、訂正、削除については、以下の窓口までお問合せください。
4. 本案内記載事項の無断転載をお断りします。 【個人情報に関する問い合わせ窓口 担当:齋藤・岩本 TEL052-221-1261】

## お申込み・問合わせ先

**中部インダストリアル・エンジニアリング(IE)協会**  
〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15 (豊島ビル11階)  
TEL 052-221-1261 FAX 052-221-1265  
<http://www.cpc.or.jp> 担当:鬼頭・堤

●中部IE協会 ホームページからもお申し込みいただけます!

中部IE協会

検索

2019. 3. 29

2019年度 モノづくり競争力研究部会[第4部会] 登録申込書

<フリガナ>

会社名

下記の通り登録申込みいたします。(昨年度登録申込みされている場合はこの申込書の送付は不要です。)

1	氏名	フリガナ	所属部署 役職名	
	住所	〒	TEL	( ) -
			FAX	( ) -
E-mail				
2	氏名	フリガナ	所属部署 役職名	
	住所	〒	TEL	( ) -
			FAX	( ) -
E-mail				
3	氏名	フリガナ	所属部署 役職名	
	住所	〒	TEL	( ) -
			FAX	( ) -
E-mail				
4	氏名	フリガナ	所属部署 役職名	
	住所	〒	TEL	( ) -
			FAX	( ) -
E-mail				

※ E-mailにて例会案内をお送りいたしますので必ずメールアドレスのご記入をお願いいたします。

請求書 **要** 申込み後の受取請求書にて振込み

請求書 **不要** 指定口座へ直接振込み

[振込み予定日をご記入下さい 月 日( )]

※上記いずれかに☑をおつけ下さい。

※請求書は上記 **1** の方宛に送付させていただきます。

(74,520円・112,320円) [消費税含む] × □ = 円

(事務局記入)

請求

No.202019

第1部会

**生産物流研究部会**

**全体最適の物流による生産性向上 ～モノと情報がスムーズに流れる仕組みづくり～**

モノと情報の流れをスムーズにすることで、ネック・停滞の部分を見える化し、工夫・改善を行い、生産性向上に結び付いた事例ならびに現場訪問を通して、モノづくりにおける全体最適物流について考察する。

第2部会

**生産システム研究部会**

**リードタイムの短縮による競争力向上 ～最適なモノづくりシステムの追求～**

リードタイム短縮を基軸として、フレキシブルな生産体制を作り上げ、競争力を高めている事例ならびに現場訪問を通して、ムダのないシンプルでスリムなモノづくりについて考察する。

第3部会

**モノづくり人材育成研究部会**

**日本のモノづくりを支える人材の育成 ～技術・技能を次世代へ～**

モノづくりの技能、生産技術、製造技術等、モノづくり現場で必要となる様々な要素について、計画的かつ組織的に次世代へ伝承・育成している事例ならびに現場訪問を通して、今、取り組むべきモノづくり人材の育成について考察する。

第4部会

**モノづくり競争力研究部会**

**新たなモノづくりへのチャレンジ！ ～競争力を高めるモノづくり力とイノベーション～**

自社の強みを見極め、これまで培ってきた現場力・技術力をさらにレベルアップさせると共に、イノベーションによる新たな価値創造へのモノづくりに挑戦し続けて事例ならびに現場訪問を通して、競争力の本質について考察する。

第5部会

**生産現場改善研究部会**

**たゆまぬ改善活動による現場力強化 ～知恵は無限、改善は永遠～**

徹底的なムダ排除に向け、こだわりを持って改善活動を実践している、業種業態の異なる生産現場の事例ならびに現場訪問を通して、改善の着眼点・発想法のポイントを掴み、これからの現場力の強化について考察する。

第6部会

**葦クラブ研究部会**

**挑戦の先に自ら創り出す 未来のモノづくり ～人間は考える葦 現場のニーズは足で掴む～**

第一線で飽くなき挑戦を続ける方々から、その熱き想いと最新の事例を伺う事を通じ、モノづくりに係わる経営者の人間観、経営観の研鑽をはかる。